

SSH 学校設定科目「探究科学」(課題研究) 評価方法について

福井県立若狭高等学校 SSH 研究部

本校 SSH の目標

科学及び数学に関する発展的な課題を設定し、その課題の解決を図る探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する高い資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。

育てようとする資質や能力及び態度

- 1 適切に課題を設定し、探究の計画を立案する
- 2 課題の解決に必要な情報を収集し、分析した上で自らの考えを形成する。
- 3 他者と協同して課題を解決する。
- 4 相手や目的に応じて論理的に表現する。
- 5 自らの学習を省察し、将来に生かす。
- 6 学びに対する自主的、主体的な態度。

以上の目標、育てようとする資質や能力及び態度の各項目を反映する能力として、「課題設定能力」が重要な要素であるとした。「課題設定能力」とは、事象の背景や現状を分析し、科学的根拠をもって仮説を立て、自らが発展的、独自性のある課題を設定する能力である。そこで、SSH 学校設定科目「探究科学」において、「課題設定能力」について評価規準、評価方法を定め、ルーブリックを作成した。

課題設定能力の評価規準

- ① 学びに対する自主的、主体的な態度
- ② 科学的な問題への定式化とその解決
- ③ 持続可能な開発発展という視点から見た地域の問題認識の深さ
- ④ 社会的責任と研究者倫理

評価方法

論文の背景・目的・方法の記述内容を以下の評価規準に照らして評価する。

パフォーマンス課題として論文を課し、1年の探究実験、2年、3年の探究科学で変化を評価できる。